

Vectorworks 覚えておきたいポイント Top10

ポイント	解説
1 オブジェクト情報パレット	Vectorworksで最も重要なパレットです。 オブジェクトの編集、修正、変更には、まずここを見ます。
2 ツールバー (ツールのモード)	予期しないツールの動作のときには、ツールのモードを確認し、正しいモードや設定がされているかを確認します。
3 取り消し command + Z (M) Ctrl + Z (W)	間違った操作をしてしまった場合は、その操作を取り消すことができます。 いくつかのツールの場合、ツール操作をキャンセルするために「Escキー」を押す必要があります。
4 修飾キー 1. Xキー 2. Shiftキー 3. Option + クリック (M) Ctrl + クリック (W) 4. マウスの中ボタン スペースキー 5. Tabキー 6. Deleteキー 7. Escキー	1. セレクションツール 2. 任意のオブジェクトを複数選択 作図やオブジェクトの移動時に決まった角度に固定 3. オブジェクトの複製 4. スマートオプションディスプレイ (クリック) 画面スクロール (クリック + ドラッグ動作) 5. フローティングデータバーの表示と、作図中のオブジェクトサイズ、データフィールドのロック 6. 選択したオブジェクトの削除、直前のマウスクリックの取り消し 7. ツール操作のキャンセル、スマートカーソルのリセット
5 スマートカーソル	スマートカーソルは、図形を揃えたり、ポイントにスナップするときに画面上にヒントを表示します。 セレクションツールや変形ツールなどでオブジェクトの編集、修正するときは、使用するツールによってカーソル形状が異なります。
6 ビュー Command + 5 (M) Ctrl + 5 (W) テンキーの 0	「2D/平面」だけが2Dを表現できるビューです。その他のビューはすべて3D表示です。 多くの場合、2D/平面ビューで作業することになります。どのビューにいるのかわからなくなった場合は、一度2D/平面ビューに戻り、表示バーにある「用紙全体を見る」ボタンか「図形全体を見る」ボタン、もしくはビュー>ズームでコマンドを選択してください。
7 レイヤとクラスの表示	レイヤとクラスの見え方、他のレイヤや他のクラスの見え方を気にかけるようにしてください。 クラスオプションは「ほかを表示/スナップ/編集」にしておくことがほとんどです。 レイヤオプションは「アクティブのみ表示」「ほかをグレイ表示/スナップ」「ほかを表示/スナップ」にしておく作業しやすくなります。 もし、オブジェクトが見えているのに選択できない場合は、オブジェクトの上で右クリックし「強制選択」を選びます。 オブジェクトを見つけれない場合は、すべてのクラスを表示状態にし、レイヤオプションを「アクティブのみ表示」にした状態で、各レイヤを移動していきます。
8 クリックの動作	クリックの動作には次の4種類があります。 「1回クリック」「2回クリック」「3回クリック」「クリックの継続」 クリックするたびに、Vectorworksからフィードバックがあります。 多くのツールは「クリック-クリック」動作になります。 例外は、図形選択のマーカー、図形の移動、パン、フライオーバー、ウォークスルーの5つです。
9 ビューポート ビュー>ビューポートを作成	ビューポートに関する設定は、すべてオブジェクト情報パレットを通じて行います。 ビューポートをダブルクリックするか右クリックすることで、ビューポートの注釈やクロープを行うことができます。
10 ヘルプ ヘルプ>ポイントヘルプ	ツールやメニューコマンドの上でクリックすると、それに関連したヘルプページが開きます。